

「森林整備計画」に基づく植栽地の管理

1 現状

「森林整備計画」に基づき、八戸市森林組合と連携し、樹木の生育状況の評価や、つる植物やグミの剪定等による植栽地の管理を実施してきた結果、順調に樹木が育成し、野生動物が目撃されるなど自然再生が進行

一方で

グミの木が現場内の視界を悪化させ、クマとの遭遇リスク増大（現場周辺ではクマによる人的被害発生）

令和7年11月 八戸市森林組合（樹木医）によるグミの木の生育評価等

- ・ 現時点でグミの木は枯れることなく横方向へ過剰に生長し、樹形が乱れるだけでなく、葉や茎だけが過剰に茂り、花や実付きが悪くなっている。また、他の木の生長を阻害している。
- ・ 作業道沿い：見通し確保のため、横方向に伸びている枝等を重点的に剪定する。
- ・ 作業道沿い以外：先駆樹種としての役割（緑化・窒素固定等）を果たした部分や、横方向に伸びている枝等を剪定する。

横方向へ過剰に生長し、樹形が乱れた状況



（現場内R7.11.19撮影）

2 対応案

視界を確保し、また、他樹種の生長阻害を防止する観点から、過剰に生長しているグミの木を剪定

- 時期 令和8年4月～5月（樹葉の繁茂等により視界不良となる前）
- 方法 横方向に伸びた枝や混み合った枝等を間引く
- 場所 別図1、2のとおり

県境不法投棄現場のゴミの木の状況



凡例

- (red dashed line) : ゴミの木
- ①~⑥ : 撮影地点

R7.7.25 上空撮影

別図 2

1



4



2



5



3



6

